

●大内代議士の退京

●練習鑑査に紀念品
●瓦斯社の披露
●韓電氣瓦斯社

十一月中の餘送數量左の如し
發旅客 三二八 開港番附 二人
小荷物 三九個

●猩紅熱流行に學童
十二三歳未満の學童にして死亡者
に居留民は日々會葬に逢な程な
病名は腎臟炎又は肺炎とせられ
傳染的の系統及より猩紅熱の疑
ひ小學校長及民團吏等協議の
合によりては當分休校可しと

十一月中に於ける關釜聯絡の荷客
小荷物の數量は左の如し
旅客出 二、九八八 入 二、二二一
物出 二、三六九 入 三、二六六

右は何れも昨年の同月に比し幾分の
少を示し入韓旅客は六十一名を増加
●瓦斯社の披露
●韓電氣瓦斯社

過般來津京中なりし新步黨代議士木
暢三氏は一昨二日釜山へ向つて出發

の如く北白川宮親久王殿下以下海
尉候補生を拝戴せる様習經隊阿蘇
の二艦は四日正午旅順より仁川に
する等なるが信夫理事官は晩餐會
す外紀念品を候補生に贈呈すと

●兩警察署の落成式
警務局長は水原警察署落成式に臨
み爲の警部一名を隨へ四日同地へ出
又黃海道海州警察署落成式へ次
理とて連元事務官警務局よりハ
警部出張を命せし三日出發せり

●ボジャヤ一中佐全快
ナター元帥一行のボジャヤ中佐は
五社に於ては披露の爲め明五日後五
時、檢査線上に盛饗を供し重立ち上
官民を招待し披露の挨拶をするべし
●小川事務官補任
義に福岡、全
屋、浪賀、東京及大坂へ出張中なり
商工部事務官小川鶴二氏は二日歸省
仁川商業會議會
來る六日午後四時より役員會を開
四十二年度決算報告と爲す等なり
●居留地の開會
仁川各國居留
會を今日午前十時十五分
●破山主筆の入京
元山日報主筆
由漢二郎氏二日入京本旅路へ投函

● 爲め一行に分れ常地大病病院に
治療中なりが已に全快したるを
近日中に出発歸國の途に就く由

● 白耳義領事の告別
駐在白耳義新任領事ブレボア氏
が在日中出立歸國の途に就く由
● 閣内打合ふるに
古城氏之議員と互謀的に決する者

● 市民助役と會計役
決定の上は助役及び會計役問題
で沸起す可き成行なるが古城氏及
古城氏之議員と互謀的に決する者

● 二日世の出入西出

港に於ける十一月中に於ける船舶入、入數を聞くに左の如し
五、同出港二、同出港五二、帆船八三
同帆船二七、漁船入港四一
組人員一八六一人

●三派代表者の集議
韓人商業會議所樓上に一進會大陣
西北學會の代表者集合し所謂聲明
のものに付き評議せりと

●三浦理事官の訪府
夜民長候補選衛會の議事及投票結
告の爲同理事官は昨朝十時就寢府
廳付新聞館に向ひ詳細報告せりと

●朝鮮王位繼承問題
乗機が歸る／＼と云ふ噂が高い様だ朝鮮人が朝鮮へ歸ると別に不思議はないが一體歸つて何をする、或人曰歸るゝと云ふ客人はヤラバ何かな催尼ダンベ▲或邦人は李甲や柳南の釋放運動を爲て居るそーだ之がばこに餘計なれ世話だ此んな事は宜しく當局者に任して置いた方がよかぬ▲京城民長の候補者は愈々大多數で古城君に決定した様だ、民長候補云へば宮内府の井上君の外に京城の大岡君も候補推撰の爲に大に運やつたそうだ結果はドリーであら

治四十二年十二月二日東京御成町
 番月周族業小林榮印刷京城報社
 親任會社之著任期
 京城駐在英國領事バーナー及米國
 シッドモア氏は數日中着任すべし
 記者は力君の奔走の勢を大に關す
 京城日報の社説は云はソナに
 があるものと見るが實に羨望に堪
 ●天氣豫報 自三日月午後六時
 至四日午後六時
 西の風晴後曇

